

第2次計画の成果指標評価一覧

◇評価 ☆☆☆ (目標達成)・・・直近(H30年度)の現状値が目標値を上回っているもの
 ☆☆ (改善傾向)・・・目標値に達していないが、数値が概ね改善したもの
 ☆ (停滞)・・・状況が改善したといえないもの
 ★ (悪化)・・・後期計画期間中のすべてにおいて数値が基準値を下回ったもの

資料1-2

基本目標	成果指標	担当課	指標の 目指す方向	基準値	現状値(各年4月時点)					目標値	達成状況
				H22 (策定時)	H23	H24	H25	H26	H30 (目標年)		
1	人権を尊重する男女 共同参画社会に向け た意識の向上	市民が感じる男女の地位の平等感(%)	政策課	↑	13.3	12.6 11.1	13.7 10.0	9.4 11.1	9.9 16.0	17.3	☆
	男女共同参画図書の貸出数(冊)	図書館事務局	↑	9,479	9,147 10,196	8,695 10,071	8,934 9,903	9,392 9,815	14,000	☆	
	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という 考え方に肯定的な人の割合(%)	政策課	↓	52.3	- 40.9	- 38.9	- 37.6	48.7 39.0	44.0	☆☆☆	
2	政策・方針決定への 男女共同参画の促進	審議会等委員への女性登用率(%)	政策課	↑	29.2	27.7 31.6	29.3 32.0	29.3 31.2	30.8 31.0	35.0	☆
	市職員における女性管理職の割合(%)	人事課	↑	11.8	12.5 15.7	12.5 17.5	12.8 19.9	13.5 22.0	20.0	☆☆☆	
	公立小中学校の教員における女性管理職の割合 (%)	学校教育課	↑	12.1	13.7 16.9	15.3 16.1	14.5 16.9	14.5 15.3	17.0	☆☆	
	町会長の女性比率(%)	政策課	↑	5.6	4.4 6.0	5.7 9.4	5.5 6.2	5.6 6.0	9.6	☆	
	男女共同参画人材育成セミナー修了生の人数(人)	政策課	↑	11	12 16	13 17	14 18	15 19	19	☆☆☆	
3	地域・家庭における 男女共同参画の推進	地域活動への参加経験者の割合(%)	政策課	↑	43.1	43.6 44.7	43.2 41.7	43.1 43.6	45.4 49.7	48.5	☆☆☆
	性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見 交換ができると思う人の割合(%)	政策課	↑	32.4	32.1 31.2	32.9 33.0	33.1 35.4	30.5 41.9	42.0	☆☆	
4	就業の場における男女 共同参画の環境づくり	男女差なく働けると感じる人の割合(%)	政策課	↑	37.4	35.8 34.4	37.8 37.6	33.5 37.4	33.8 -	51.0	☆
	仕事と子育ての両立ができていると思う人の割合 (%)	政策課	↑	68.8	69.0 70.9	73.5 68.0	73.1 72.7	73.6 75.9	77.2	☆☆	
	放課後児童保育施設の数(施設)	子育て支援課	↑	54	57 58	58 56	58 57	58 58	59	☆☆	
	出産・育児による退職後、希望の職場・職業に 就いた人の割合(%)	政策課	↑	51.3	45.3 52.9	51.3 51.8	49.1 53.7	49.4 58.1	63.9	☆	
5	生涯にわたる心身の 健康と福祉の充実	住民検診の受診率(%)	健康づくり課	↑	39.3	39.7 36.9	40.4 37.4	37.6 36.7	36.8 36.0	42.3	★
	社会に活躍の場を持っている高齢者の割合 (%)	政策課	↑	35.5	38.7 39.8	37.2 37.3	40.5 41.7	36.2 38.0	38.6	☆☆	
	福祉サービスを受けている人の満足度(5点満 点)	政策課	↑	3.6	3.8 3.8	3.8 3.7	3.9 3.8	3.6 3.9	3.8	☆☆☆	
6	女性に対する暴力の 根絶(一宮市DV対策 基本計画)	DVを理解している人の割合(%)	政策課	↑	74.9	85.4 90.3	82.6 87.5	86.4 90.8	86.1 86.2	90.0	☆☆
	DVに関する相談窓口を知っている人の割合 (%)	こども家庭相談 室	↑	51.1	48.9 39.6	33.2 38.2	37.2 43.5	40.6 55.3	75.0	☆	
	DV被害者へのワンストップ支援へ対応する支 援事業数(事業)	こども家庭相談 室	↑	0	0 12	6 12	10 14	12 14	12	☆☆☆	

※基本目標4 男女差なく働けると感じる人の割合(%)に関しては、総合計画の指標の変更により、前年度までの数値で評価